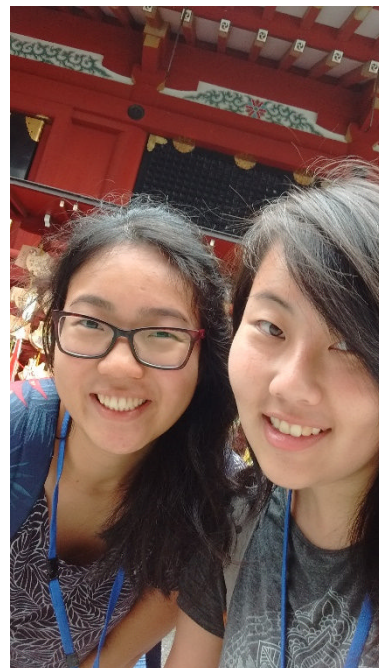


日系社会次世代育成研修 (大学生招へいプログラム)

現在、日系人である同世代の者はだんだんと日系社会をはなれてきたため、これからの日系社会はすごく不安だと思っていました。先祖が世界の裏側からもってきた日本の文化や習慣、そして日本とブラジルの文化を組み合わせた日系文化をなくしたくないという気持ちでした。だから、この問題に対して「どんな行動をとればいいのか」を一つの目標として、本研修に挑みました。

この約一ヵ月では様々な日本文化に触れることが出来て、印象に残ったのは茶道でした。JICAの面接で「どの日本文化に興味ありますか。」ときかれ、その時の答えが茶道で実際に体験することが出来て興奮しました。茶道や日本文化である唐紙、藍染めのやり方が今まで伝わってきたことに驚いて、日本は自分の思っていた以上にすごい国だと思いました。



神戸では海外移住と文化の交流センターへ行って移住の話しを聞き、祖父母や他の移住者が過ごしたセンターを見て、港までの同じ道を歩き感動しました。今の日系社会は我々の先祖の努力と苦勞で築かれたことがよりわかりました。

他の大学生との交流も大切な思い出になりました。その中で横浜国立大学の人達とは大学に通っていた三日間一緒に食事をしながら様々なはなしをするのがとても楽しかったです。

ラテンアメリカの国のみんなとは四週間の長い付き合いで一生忘れられない思い出を沢山作りました。彼らとは日系社会に対してのグループディスカッションが一番印象に残りました。みんなは同じラテンアメリカで国の状況が似ていて、一緒



にこれから私達がリーダーとして活動し始める社会を考えたり、何十年後の日系社会によって話し合うことがとてもいい経験になりました。

本研修では先祖の国である日本とより深い絆をつくることが出来、日系社会のはなしも色々聞き、その大切さが我々に伝わったと思います。だから、これからは日系社会の一員として日系社会からはなれた人やほかの人達にもその大切さを伝え、興味を持たせたいです。

この機会を与えてくださった JICA、日本でお世話になった海外日系人協会、そしてこの 4 週間を共に過ごした大学生の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



大橋 カリナ 歩